

サイバー空間の脅威の情勢:極めて深刻

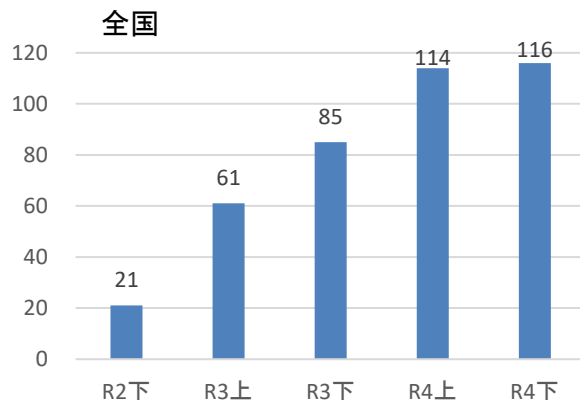
① ランサムウェアの感染被害が拡大

〔情勢〕

- ・ 令和2年下半期以降、右肩上がりで増加中
- ・ VPN機器等からの侵入が多数
- ・ 企業・団体等の規模や業種を問わず広範に発生
- ・ 復旧に2か月以上の期間や5,000万円以上を要した被害も発生

〔対策〕

- ・ 機器等の脆弱性対策(パッチ等の適用)
- ・ バックアップデータをオフラインで保管



[ランサムウェアの被害の報告件数]

② インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加

〔情勢〕

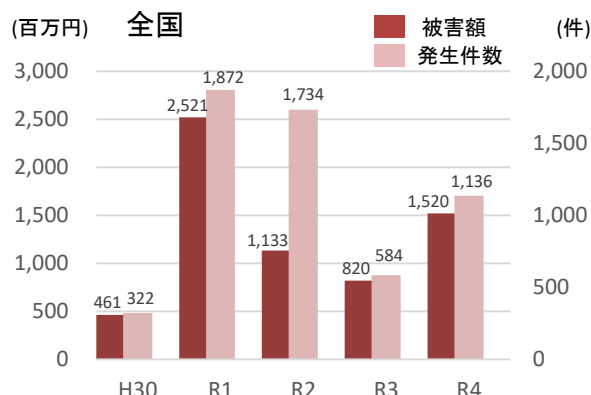
- ・ 発生件数、被害額が前年より増加
- ・ 被害の多くがフィッシングによるもの

〔対策(個人向け)〕

- ・ OS、ソフトウェア等の更新
- ・ ワンタイムパスワード等の活用
- ・ メール等のリンクは安易にクリックしない

〔対策(企業向け)〕

- ・ DMARC(※)の導入
- ※ なりすましメール対策技術



[インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数・被害額]

③ 我が国に対するサイバー攻撃が相次いで判明

北朝鮮のサイバー攻撃グループによる国内の暗号資産関連事業者に対するサイバー攻撃や学術関係者・シンクタンク研究員等に対する標的型メールによるサイバー攻撃が発生

『令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢』

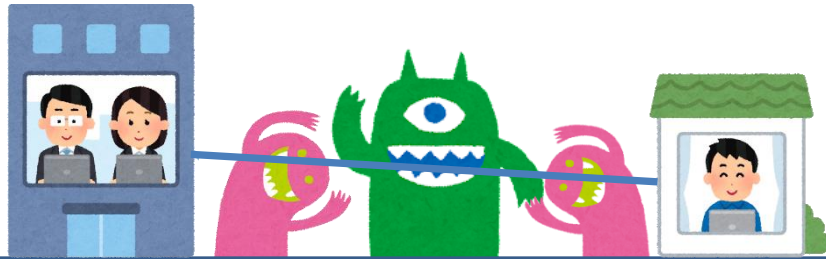
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R04_cyber_jousei.pdf



令和4年における県内のサイバー犯罪情勢

① ランサムウェアの感染被害が**拡大**！

テレワークにも使用される**VPN機器**が狙われました



認知件数は
前年の**約3倍**
(28件)

対策

- バックアップデータを**オフライン**で保管
- 修正プログラム「**パッチ**」を素早く適用

② インターネットバンキングを狙った **不正送金**被害が**急増**！

- 令和4年中の被害額は前年の約**2.3倍**（約6,300万円）！
- 令和5年の被害額は、3月末の時点で既に**令和4年中の被害額を上回る**！
- 金融機関を装ったフィッシングメール**によりIDやパスワード等を入力した直後に被害に！

対策

